

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 7 年度 第 1 回行田市地域包括支援センター運営協議会	
開 催 日 時	令和 7 年 7 月 2 4 日（木） 【開会：14 時、閉会：15 時 15 分】	
開 催 場 所	行田市郷土博物館 2 階会議室	
出席者（委員） 氏 名	山崎 孝子 ・ 青木 正 ・ 松本 麻里子 ・ 風間 孝夫 ・ 小暮 福三 ・ 藤倉 敬士 ・ 小池 晶子 ・ 中澤 芳子 （敬称略）	
欠席者（委員） 氏 名	山田 順 ・ 金子真紀子（敬称略）	
傍 聴 者	0 名	
事 務 局	健康福祉部高齢者福祉課 （春日課長、川上主幹、橋本主査、上杉主任）	
会 議 内 容	議題 (1) 地域包括支援センター令和 6 年度事業報告 (2) " 令和 7 年度事業計画 (3) 認知症初期集中支援チーム活動報告	
会 議 資 料	○資料（82 ページ） ○当日配布資料（※非公開） （認知症初期集中支援チーム活動実績（令和 6 年度）	
そ の 他 必 要 事 項	事務局のほか、地域包括支援センターから職員等が計 10 名出席した。	
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名
	令和 7 年 8 月 2 2 日	山崎 孝子
発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）	
事務局	○開会【14:00】 ○課長あいさつ ○自己紹介 ○会長・副会長の互選【14:10】 会長及び副会長の選任につきましては、要綱第 5 条第 1 項の規定に「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」とありま	

	すので、どなたか会長になっていただけるか、または推薦のご意見をいただける方がいたらお願いしたい。
小暮委員	事務局で案があるか。
事務局	ただ今、事務局で案がないかという声があったが、事務局で案を出させていただいてよろしいか。
委員	はい。
事務局	それでは、事務局より提案させていただく。 福祉関係者として行田市民生委員児童委員連合会よりご推薦いただいた山崎委員に会長をお願いしたいがいかがか。賛成の皆様は拍手をお願いする。
委員	<拍手>
事務局	また、副会長は、埼玉県社会福祉士会からご推薦いただき、引き続き委員をお引き受けいただいている青木委員に副会長をお願いしたいがいかがか。
委員	<拍手>
事務局	拍手をいただいたので、会長を山崎委員、副会長を青木委員をお願いする。 それでは、会長、副会長には前方の席へ移動いただき、それぞれご挨拶をいただきたい。 (長島会長あいさつ) (青木副会長あいさつ)
山崎会長	○議事【14:15～】
事務局	<u>(1)地域包括支援センター令和6年度事業報告</u> <u>(2)地域包括支援センター令和7年度事業計画</u>
山崎会長	資料では令和6年度との比較が出ているところが素晴らしい。10 ページ目の(2)のケアプランの件数だがケアマネジメントのAとBの分け方はよ

	くわかった。合計の欄では去年より今年の委託件数が増えているが地域包括支援センターでは大変な作業ではあろう。一番多いのは地域包括支援センター緑風苑だが増えた理由はどうか。
機能強化型地域包括支援センター緑風苑	前年度の緑風苑のケアプラン件数が多いのは地域包括支援センターまきば園が廃止となったため、暫定的に緑風苑が請け負わせてもらった。その分の増加である。その際170～180件のケアプラン件数があり、緑風苑だけで処理することが困難であった。そのため、利用者様に迷惑が掛からないようにケアマネージャーと相談して利用者様に事前に了承をいただいてケアプランを再委託で対応したものである。
山崎会長	承知した。 今回地域包括支援センターまきば園の代わりに地域包括支援センター緑風苑第二が出来たが人口に対する地区の割り振りが良く出来ている。 14,000人から15,000人できれいに区分け出来ている。
各包括	<u>包括支援センター令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画</u>
青木副会長	ひとり暮らしの高齢者に介するということでこれから取り組むというか、あるいはどのくらい高齢者の方がいらっしゃるのか、あるいはひとり暮らしだけでなくご夫婦の高齢者も入るのかもしれないが市の方ではデータですぐ分かるのか。ある程度、地域で近所付き合いが出来ている所では孤独死はないと思うのだが集合住宅や団地あるいはアパート、近所に民家がないなど、そういった方々の支援は現在、またはこれからどう行っていくのか。アウトリーチとかも考えられるがまずは把握という点で地域包括支援センターは独居の方の把握はどのくらい出来ているのか。
事務局	まずひとり暮らし高齢者の数、高齢者のみ世帯の数だが市の方から民生委員へ5月頃に現在では70歳以上の高齢者の世帯調査をお願いしている。そこでひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の数を各々確認している。第9期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画にもそのデータを掲載している。本日資料を持参していないが、おそらく3,000から5,000世帯程度であったと思う。そのうち孤独死になりそうな世帯の把握であるが、事業計画にもあった地域支援ネットワーク会議を今まで年2回やっていた。自治会ごとに区分けをして民生委員、地域包括支援センター相談協力員、市職員、包括支援センター、社会福祉協議会を交えて民生委員の担当区ごとに作成した住宅地図を広げて一軒ずつ把握していっ

	ている。高齢者のみ世帯等を色分けしている。そこで会議出席者は「最近姿を見ない」「入院している」「施設入所された」などの情報を得ることで地域包括支援センターは早期介入を行っている。それでも防ぎきれないのが孤独死である。いくら民生委員が把握していても中々関係が持てないという世帯もあって、ではどうやって介入しようか皆で考えながら進めているところである。市ではひとり暮らし高齢者等を支援するためを見守り事業を3事業行っている。「配食サービス」「緊急通報措置」シルバー人材センターに委託している「ひとり暮らし高齢者見守りサービス」を行っている。 また介護保険サービスを使っていれば専門職との関わりが出来る。
青木副会長	孤独死について実際に取り組んでいただいていることが理解できた。さらに関係性を築く、訪問をしても中々対応してくださらないケースもあるし、また、この時期、熱中症で締め切った家もある。危険な方がいる中で、ここにいと分かって入れないといったジレンマを抱えながら支援いただいていることが分かった。
山崎会長	民生委員の仕事として、やはり高齢者の見守りは切実な問題で私たちはマップを活用しながら小まめに連絡を、いわゆる電話作戦をやっている。私も孤独死を2件経験したが、近所の方が「電気が付いていない」とすぐに気づいてくれたことがある。二人ともお風呂での発見であった。やはり防ぎようはないものではあったが、一件は近所の方、もう一件は新聞配達の方が、新聞が貯まっていると私に連絡があった。急な体調不良もあるし、今は熱中症もあるし、最大限努力はしているが難しい。可能な限り未然に防ぎたい気持ちはある。
機能強化型地域包括支援センター緑風苑	<u>(3) 認知症初期集中支援チーム活動報告</u> (意見なし)
事務局	閉会【15:15】